



2009/2/20・21

湖西地方で宿泊研修をしました！

発行日：2009/4/9 発行元：里親学生支援室

1日目は、大津赤十字病院を見学後、中町商店街の様子を観ながら近江八景のひとつ「三井の晩鐘」で有名な「三井寺」を拝観しました。午後は、琵琶湖の西北部一帯を担う総合医療施設として機能している公立高島総合病院を訪れ、施設についての説明や高島地域の救急搬送における困難な医療の現状等お聞きし、院内施設の見学をさせていただきました。次に訪れた特別養護老人ホーム「やまゆりの里」では、施設職員の方から入居者のお部屋等施設内をご案内いただき、利用者に優しい快適な施設で過ごされる生活の様子を拝見させていただきました。朽木診療所の野村先生からは、診療所では医療だけでなく保健や福祉も含まれる地域包括ケアを行っていることなど巡回診療についてもお話を聞くことができました。診療所内を見学させていただいた後、宿泊先の「グリーンパーク想いの森」へと移動し、夕食は高島市役所の清水さんの計らいもあり、郷土料理である「猪鍋・なれ鮎」などを美味しながら里親の松本先生ご夫妻や朽木診療所の野村先生、高島市健康推進課の職員の方々、保健師や看護師のみなさまとの交流懇談会を開催しました。

2日目は、明け方からあたりは雪化粧となり、積った雪ではしゃぐ学生の姿がみられました。足利庭園・関西花の寺二十五か所の一つとして知られる「興聖寺」へ向かい、ご住職からお寺の歴史や地域の暮らしにまつわる経験談をお聞きした後、安曇川の中江藤樹記念館で儒学者「中江藤樹」の遺品などの展示品も見学しました。午後からは、滋賀医大の卒業生の松本先生が開業されている「まつもと整形外科」を訪問させていただきました。地元の視点をふまえた医療の在り方や開業の工夫など学生の興味をそくお話しをさせていただき、質問も飛び交い、また医院の機器類に触れることができ、実のある研修を受けることができました。新旭町では「針江 生水の郷」へ。地元のボランティアガイドによる説明を聞きながら今も各家庭に残る「かばた」を見学し、地元の生活や自然に触れることができました。

学生の感想文(抜粋)より↓



興聖寺にて

特別養護老人ホーム
やまゆりの里にて



針江地区にて
湧水とかばたの見学



交流会参加の皆様と

＜掲載許可承諾済＞

朽木診療所にて
野村所長からスライドを使った丁寧な説明がありました



まつもと整形外科にて



僻地医療は大変であると同時にやりがいがあるのだ、ということを実際に働いておられる朽木診療所の先生から聞くことができたのは、今回の研修で最も印象的でした。また、三井寺や針江地区なども観光し、おいしい食事もいただき本当に楽しい研修旅行でした。

診療所訪問でお世話になった野村先生と松本先生に晩御飯の交流会の時間にお話を伺って、私の「将来なりたい医師像」がまた一つ膨らみました。

専門にも興味はありますが、どの科でも診療できる僻地医療にも興味湧いてきました。

地域の方々はとても温かく、また実際に地域医療に携わっている先生方から地域医療のやりがいや大変な点、これからの大学生活のアドバイスなどを伺うことができました。

今まで、僻地で働くという大変そうなイメージばかりが先行していましたが、朽木を訪れたことでこういう場所での暮らしもまた違った楽しみがありそうだという前向きなイメージも持つことができました

湖西の方では雪景色が広がっていて、自分の知らなかった滋賀県の姿に触れることができました気がします。滋賀県には光るものがいっぱいありました！！



公立高島総合病院にて

高島総合病院では、青野院長のお話を拝聴した後、病院内の施設を見学させていただきました。